

令和7年国勢調査 人口等基本集計結果（確報値） ～埼玉県人口は728万7,325人～

1 日本の総人口

○令和7年10月1日現在の日本の総人口は、1億2,297万2,528人で、前回調査の令和2年に比べ317万3,571人、2.5%減少しました。

○総人口のうち日本人人口は1億1,740万5,318人であり、前回調査に比べ3.4%減少しました。

○外国人人口は346万1,758人であり、前回調査に比べ44.1%増加しました。

2 埼玉県の人口

○埼玉県の人口は728万7,325人で前回調査に比べ5万7,440人、0.8%減少し、大正9年の調査開始以来、初めて前回調査を下回りました。

（1）総数 7,287,325人（令和2年比：△57,440人、△0.8%）

（2）男性 3,607,710人（令和2年比：△44,459人、△1.2%）

（3）女性 3,679,615人（令和2年比：△12,981人、△0.4%）

○全国順位でみると人口は第5位（前回も第5位）で、人口増減率は第5位（前回は第4位）です。

順位	前回	都道府県	人口（人）	増減数（人）	増減率（%）
1	1	東京都	14,236,627	189,029	1.3
2	2	神奈川県	9,193,922	△43,411	△0.5
3	3	大阪府	8,759,312	△78,373	△0.9
4	4	愛知県	7,448,043	△94,372	△1.3
5	5	埼玉県	7,287,325	△57,440	△0.8

3 埼玉県内市町村別人口

○人口の多い市町村は、①さいたま市（1,344,865人）、②川口市（591,712人）、③川越市（354,567人）、④所沢市（342,537人）、⑤越谷市（341,497人）の順で、いずれも前回と同じ順位でした。

○人口増加数が多い市町村は、①さいたま市（20,840人）、②朝霞市（6,150人）、③草加市（3,056人）、④蕨市（1,171人）、⑤富士見市（892人）です。

○人口増加率が高い市町村は、①朝霞市（4.4%）、②蕨市（1.6%）、③さいたま市（1.6%）、④草加市（1.2%）、⑤滑川町（0.9%）です。

4 埼玉県の年齢別人口

○15歳未満人口（年少人口）は78万332人（県人口の11.0%）、15歳～64歳人口（生産年齢人口）は436万3,435人（同61.3%）、65歳以上人口（老年人口）は197万3,582人（同27.7%）となっています。

（1）15歳未満人口 780,332人（令和2年比：△78,052人、△9.1%）

（2）15～64歳人口 4,363,435人（令和2年比：28,247人、0.7%）

（3）65歳以上人口 1,973,582人（令和2年比：38,588人、2.0%）

※年齢「不詳」の者を除いて算出

5 埼玉県の平均年齢

○埼玉県の平均年齢は48.2歳で、前回調査の46.9歳から1.3歳上昇しました。

○全国順位は前回調査の第7位から第8位になりました（順位は若い順）。

※年齢「不詳」の者を除いて算出

6 埼玉県内市町村別順位

○市町村別の平均年齢・年齢3区分の上位・下位（平均年齢は若い順）は下表のとおりです。

順位	平均年齢（歳）	15 歳未満割合（%）	15～64 歳割合（%）	65 歳以上割合（%）
1	戸田市（43.4）	滑川町（13.8）	戸田市（68.6）	東秩父村（51.3）
2	和光市（44.1）	戸田市（13.1）	和光市（68.5）	鳩山町（49.2）
3	朝霞市（44.3）	朝霞市（12.7）	朝霞市（67.5）	小鹿野町（44.0）
	県全体（48.2）	県全体（11.0）	県全体（61.3）	県全体（27.7）
6 1	小鹿野町（56.5）	小鹿野町（6.7）	ときがわ町（49.0）	朝霞市（19.8）
6 2	鳩山町（58.8）	鳩山町（6.4）	鳩山町（44.4）	和光市（19.6）
6 3	東秩父村（60.0）	東秩父村（5.0）	東秩父村（43.7）	戸田市（18.4）

※平均年齢は若い順

※年齢「不詳」の者を除いて算出

7 埼玉県の外国人人口

○県内の外国人は 24 万 681 人で、前回調査に比べ 7 万 9,242 人、49.1%増加しました。

○都道府県別の全国順位は前回調査と同じく第 5 位です。

○外国人人口の多い市町村は、①川口市（43,967 人）、②さいたま市（31,272 人）、③草加市（11,792 人）、④川越市（11,595 人）、⑤越谷市（8,938 人）の順です。

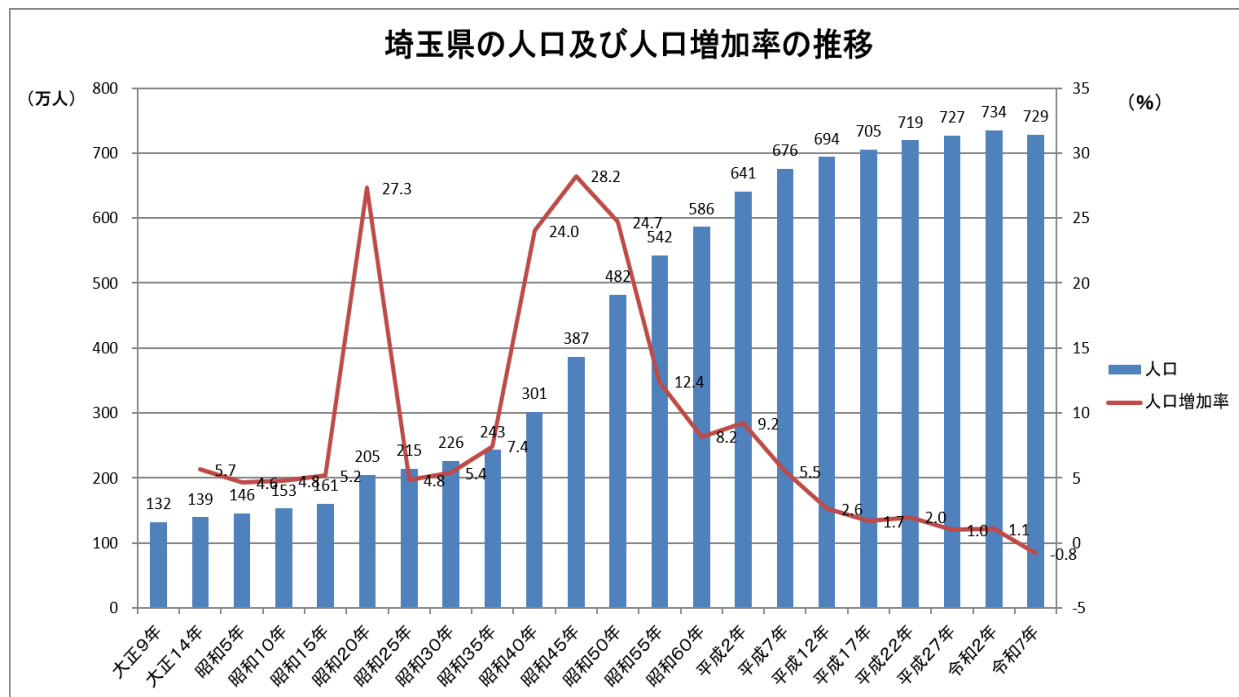
8 埼玉県の世帯

○県内の世帯数は 330 万 4,111 世帯で、前回調査に比べ 14 万 1,368 世帯、4.5%増加しました。

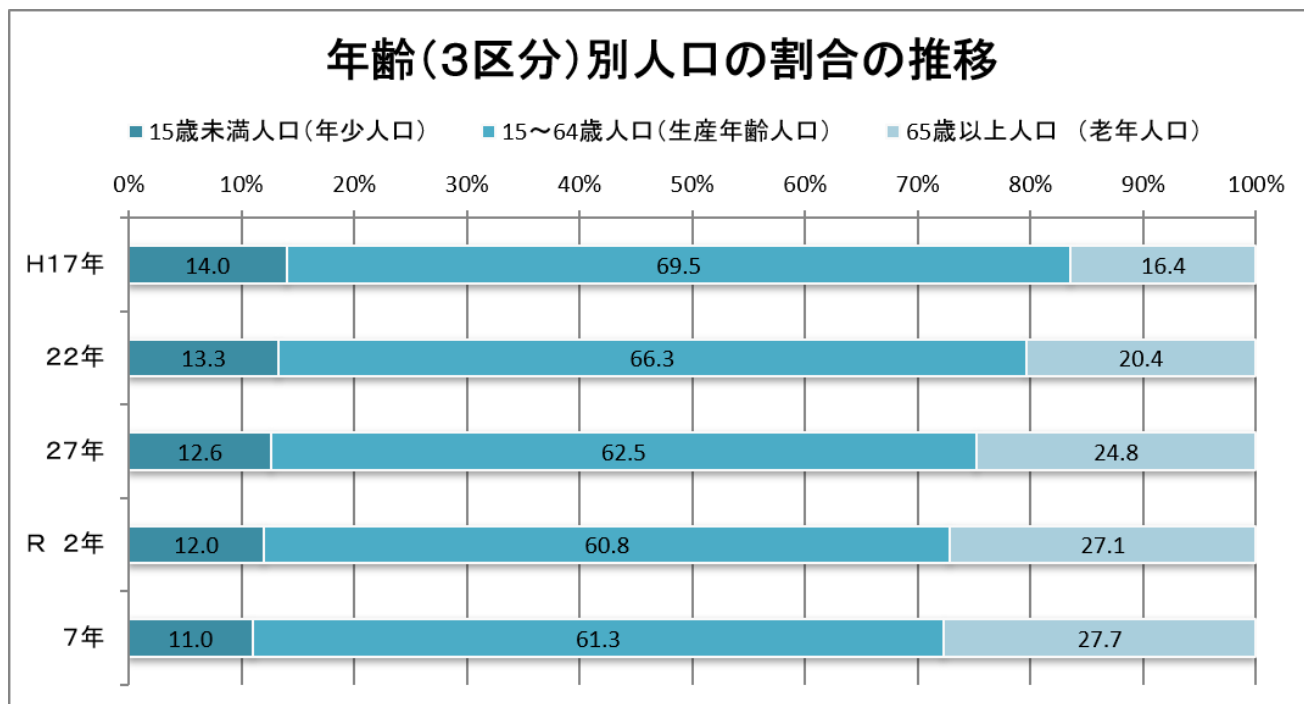
○1 世帯当たり人員は、前回調査の 2.32 人から 2.21 人と減少しました。

9 図表

○人口及び人口増減率の推移（埼玉県 大正9年～令和7年）



○年齢（3区分）別人口割合の推移（埼玉県 平成17年～令和7年）



※年齢「不詳」の者を除いて算出

【国勢調査人口等基本集計とは】

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、国の最も重要な統計調査です。国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、統計法に基づいて5年に一度実施されます（大正9年に調査が始まり、今回が22回目）。

人口等基本集計は、全ての調査票を用いて市区町村別の人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計した確定値です。